

ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんにお渡しした卒業証書には、6年間の学習を修了したという意味が込められています。楽しかったことは勿論、辛かったことや悲しかったことも数多く経験し、それらを乗り越え、今日の節目を迎えたことを証明するものです。その背景には、皆さんの成長を心から願い、愛情を注ぎ続けてきたお家の方々の思いや、熱意を持って指導してきた先生たちの願いも込められています。どうかいつまでも卒業証書と共に、お家の方や先生たちの思い・願いも大切にしてください。

さて、いよいよ4月から中学生です。中学校生活が始まると、今までとは違うところを沢山感じると思います。例えば、自主自立の大切さや責任の大きさ等です。しかし、今までの12年間で積み重ねてきた基礎基本を大切にすれば、何も心配することはありません。中学校の3年間は、小学校6年間の何倍も成長できる期間になることでしょう。

その成長を期待してお話します。それは、決して失敗を恐れず、チャレンジして欲しいということです。チャレンジすることで、新しい世界・景色を見ることが出来ます。

現在、「世界で一番活躍している日本人」と言えば、大谷翔平選手を思い浮かべる人が多いと思います。でも、プロに入った時点では、二刀流（ピッチャーとバッター）へのチャレンジに反対する人が圧倒的に多く、賛成する人は極少数でした。それでも本人が決断し、大きな壁を乗り越える（チャレンジをする）ことで、誰もが成しえなかった偉業を成し遂げています。

ですから、みなさんにも見逃し三振ではなく、ボールを芯で捉えることを狙ってバットを振って欲しい（チャレンジして欲しい）と思います。今回は、空振り三振であった（思うようにいかなかった）としても、その経験とそのときの思いは、決して無駄なことではありません。むしろ、次に向けてチャレンジする力が大きくなるはずですよ。

ときには、他の誰かがチャレンジする場面で、その人のために自分は守りに徹すること・支える立場に回ることもあるでしょう。それも、きっと自分を大きく成長させる機会になるだろうと思っています。いずれにしても、君たちの光り輝く人生を、悔いのないよう、自分自身で磨いていってほしいと願っています。
(卒業式学校長式辞より抜粋)

1～5年生のみなさんへ

修了おめでとうございます。4月にはそれぞれ次の学年に進級します。ひとつ上のステージで活躍・成長してくれることを楽しみにしています。

参観日・懇談会 ありがとうございました

2月27日(火)に、今年度最後の参観日・懇談会を行いました。おいでくださった皆様、ありがとうございました。

6年生は、この日に合わせて「地域語り部学習」の発表を体育館で行いました。事前に地域のゲストティーチャー(GT)から教えていただいたことをもとに、あけぼの・新万・南新万・朝日ヶ丘の歴史や行事などについてまとめたものです。

子どもたちからは、「自分たちの住む地区により興味を持った。」「母が『めっちゃいい発表だった。』と言ってくれた。GTのおかげだと思う。』などの感想が出ていました。

バスに乗って「ふれあい教室」

3月5日(火)に、2年生は龍神バスのふれあい教室を行いました。公共交通機関の役割や、乗り方・マナーについて教えていただき、その後、実際にバスに乗って紀伊田辺駅まで行ってきました。

子どもたちは、「お金のはらい方やボタンの押し方を初めて知った。」「龍神バスなどの公共交通にまた乗りたい。」などの感想を書き残していました。



令和6年4月号(2024年)

公民館だより

ひがし公民館区 人口及び世帯数(2月末現在)

人口 5,531人 2,821世帯
(男性) 2,595人
(女性) 2,936人



編集・発行 田辺市南新万28番1号 田辺市ひがし公民館 館長：濱野 公二 主事：濱地 美帆
TEL：22-2088 FAX：81-3301 田辺市ホームページ <http://city.tanabe.lg.jp/>

SDGsはもうすでに広く知られている言葉ですが、その内容を知っていますか。SDGsとは、2015年9月の国際連合本部で193の加盟国により採択された「持続可能な開発目標」です。世界中に山積する社会課題を2030年までに解決するため、17のゴールと169のターゲットが設けられました。「誰ひとり取り残さない」理念のもとに、先進国も発展途上国も、行政機関も企業も、そして個人にも共通する全人類の目標なのです。

それでは、「持続可能な開発目標」の17のゴールの日本の達成度はどのようでしょうか。一番高い水準に達しているのは4「質の高い教育をみんなに」ですが、一番低いのは何でしょうか。5「ジェンダー平等を実現しよう」です。世界経済フォーラムが公表した男女格差を測る2020年の「ジェンダーギャップ指数」で、日本は146カ国中どれくらいだと思いますか。教育分野で1位、保健分野で63位、経済分野で121位、政治分野で139位で、総合では116位となっています。特に低い政治分野は、国会議員の割合、閣僚の割合、自治体の長の在任期間によって測定されています。

上智大学法学部の三浦まり教授が執筆され、2023年に出版された『さらば、男性政治』によると、日本では国会はもちろん、地方自治体の議会においても女性の議員が極端に少なく、議会構成が社会の実態から乖離しています。特に都市部より地方によく見られる現象です。男女で経験や視座が異なっているため、少なくとも3割の女性議員がいないと、女性の声が届きにくいのです。女性議員が増えると、日々の生活に直結している「出産・子育て・少子化対策」や「介護・福祉」に関わる政策に取り組む傾向が見られます。もう一つ重要なのは、女性議員が増えることで、民主主義の質が高まり、汚職や慣例などへの監視が強まり、公共サービスの質が改善されるという研究結果もあります。守旧派による閉ざされた議会運営を改革し、市民参加を進めたい議員が多く選出されると、住民の政治関心も高まる傾向にあるようです。

三浦教授は、「男性政治とは、男性だけで営まれ、それを当たり前だと感じる政治のあり方である。男性ばかりで占められるおなじみの景色を変えていくには、女性議員をもっと増やさなければならない。しかし、それは最終目標ではなく、通過点に過ぎない。ジェンダー平等で多様性のある政治の実現によって、女性も男性もマイノリティーも、あらゆる人が自由に生きやすい社会になっていこう。」と締めくくっています。

日本の春と言えば花見でしょう。訪日観光客にも人気があります。「花見」は、英語では "cherry-blossom viewing" です。cherry は「サクラノボ」、blossom は「花」 viewing は「眺めること」という意味です。▼ 「花」に相当する単語は3つあります。一般的には flower ですが、切り花や花束にする花は bloom で、果樹に咲く花は blossom と区別しています。▼ ちなみに、「観梅」は、"ume-blossom viewing" です。梅は、正式には ume または Japanese apricot (アンズ) であって、plum (スモモ) は、俗用的な言い方です。

公民館サークルの参加者を募集します

「ひがし公民館 公民館サークル」の参加者を募集します。「交流の場を広げたい」「趣味や教養の幅を広げたい」などをお考えの皆様、公民館で活動してみませんか。各サークルの様子や見学・体験のご相談などは、ひがし公民館までお気軽にお問い合わせください。
 ※公民館サークル：公民館が立ち上げた「教室」が、自主運営の「サークル」となったもの。
 ※その他、住民の方が自ら立ち上げた「一般サークル」もごございます。運動をするサークルや創作活動をするサークルなど様々ありますので、お気軽にご相談ください。


サークル名	活動日	時間	会費
ひがしコスモス（社交ダンス）	毎週月曜	19:30～21:30	1,500円/月
ルーシーダットン（体の調整法）	月曜（月2回）	19:30～20:30	6,000円/3ヶ月
骨盤矯正ストレッチエクササイズと全身運動（朝）	月曜（月2回）	10:30～11:30	6,000円/3ヶ月
骨盤矯正ストレッチエクササイズと全身運動（夜）	木曜（月2回）	19:30～20:30	6,000円/3ヶ月
スポーツウェルネス吹矢	毎週火曜	9:30～11:30	無料
フラワーアレンジメント	第3火曜	19:30～21:30	3,000円/月
ひがしコーラス	第1・3木曜	13:30～15:00	1,500円/月
大正琴 さくら会	第2・4金曜	13:30～15:30	3,000円/月
アロマセラピー	第3土曜	13:30～16:00	6,500円/年

お問い合わせ：ひがし公民館（TEL：22-2088）

グラウンドゴルフ大会結果

3月2日(土)に恒例のグラウンドゴルフ大会を開催しました。会場設営をはじめ大会の運営にご協力いただいた参加者の皆様、誠にありがとうございました。

大会の結果は以下のとおりです。


-  優勝：稲垣 秀人さん（57打）
- 準優勝：川端 広子さん（62打）
ホールインワン2回
- 第3位：飯田 正行さん（62打）
ホールインワン1回



東部・南部・ひがし公民館3館合同ソフトバレーボール大会結果

3月17日(日)に、東部・南部・ひがし公民館3館合同ソフトバレーボール大会を東陽中学校で開催しました。7チームの参加があり、賑やかな大会となりました。

大会の結果は以下のとおりです。

-  優勝：清水
- 準優勝：木曜バレー
- 第3位：田上



東陽中学校

田辺市立東陽中学校 学校だより
最終号 令和6年3月22日

令和5年度が修了しました

本日3月22日、令和5年度の修了式を無事に迎えることができました。3月7日には卒業証書授与式が行われました。様々な場面で東陽中学校の中心として活躍してくれた卒業生の今後の活躍を願っています。在校生には、4月から新しい立場で頑張ってくれることを期待します。

令和5年度も本校の教育活動ご理解と多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。

第75回卒業証書授与式 答辞 一部省略 卒業生代表 西 彩希

冬の寒さも少しずつ和らぎ、吹く風にも春の訪れを感じる季節となりました。僕たち97名は9年間にわたる義務教育を終え、卒業の日を迎えました。

3年前の4月、桜が美しく咲く中、僕たちは東陽中学校に入学しました。不安や緊張もありましたが、新しい制服、新しい友達、全てが新鮮で、これから始まる中学校生活に胸を膨らませていました。

2年生になり、後輩を引っ張っていけるような先輩になれるのか不安でしたが、新しい仲間と共に様々なことに取り組めることが、とても楽しみでした。立志式では、自分自身を見つめ直し、今後の決意を宣言することができました。また、これまでの自分を振り返ることで、支えてくれた人々の存在を改めて感じるすることができました。

時は流れ、最後の春がやってきました。最高学年となり、東陽の伝統を受け継ぐことができるのか、後輩の見本になれるのかと考え、立ち止まってしまうことも多くありました。

今でも鮮明に思い出せる修学旅行。台風の影響が心配されましたが、無事、当日を迎えることができました。自然豊かな北海道は、景色がきれいなだけでなく、食べ物も美味しかったです。修学旅行では、団体行動の難しさ、友達の大切さを改めて感じるすることができました。

1年生から取り組んできた熊野の森プロジェクト。ドングリを集めることから始まり、毎日水を与えてきた苗を、3年生の秋に植樹しました。熊野古道の保全に貢献できたことを誇りに思います。また、田辺市の特産物を使って、地元の企業と協力し、商品開発を行ったTOYOマートは、多くの人に田辺市を知ってもらおうきっかけとなりました。これらの取り組みを通して、今ある地域資源を生かすためには、どうすれば良いのかを学ぶことができました。

仲間と共に取り組んだクラブ活動、クラスごとに戦った体育大会、文化発表会。うれしいことも悲しいことも乗り越えることができたのは、この学年のみんなと一緒にだったからだと思います。騒がしくて怒られた授業、みんなで笑い合った休憩時間、そんな毎日を当たり前のように過ごしてきたのも今日で最後。東陽中学校というこの場所で僕たちが出会えたこと、これは奇跡だと感じています。思い出という贈り物をありがとう。

僕たちをご指導してくださった先生方、今までありがとうございました。個性豊かな先生方に囲まれて過ごした日々は楽しかったです。たくさん迷惑をかけることもありましたが、常に僕たちのことを考えてくださったおかげで、充実した中学校生活を送ることができました。三年間で学んだことを生かし、これからも努力していきます。僕たちが立派な大人になる日まで応援してください。

そして、どんなときでも一番そばで僕たちを支えてくれた家族。義務教育終了の今日まで育ててくれてありがとうございました。1月1日に起こった能登半島地震で、家族がいることは当たり前ではないと痛感しました。悲しいときはそっと励ましてくれ、うれしいことがあったときには自分のことのように喜んでくれ、いつも心の支えになっていました。これからは僕たちが家族を支えていける人になります。まだまだ迷惑をかけてしまうと思いますが、よろしく願います。

いよいよ旅立ちのときです。僕たちはこれから、それぞれの道へ進みます。希望や期待だけでなく、不安もあることでしょう。しかし、僕たちは東陽中学校での思い出を胸に、この先の人生を一步一步、歩いていきます。